

# グリーン四国

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30

TEL 088-821-2052

FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

電子メール [shikoku\\_soumu@rinya.maff.go.jp](mailto:shikoku_soumu@rinya.maff.go.jp)



四国山の日

No.1118 2013年5月号

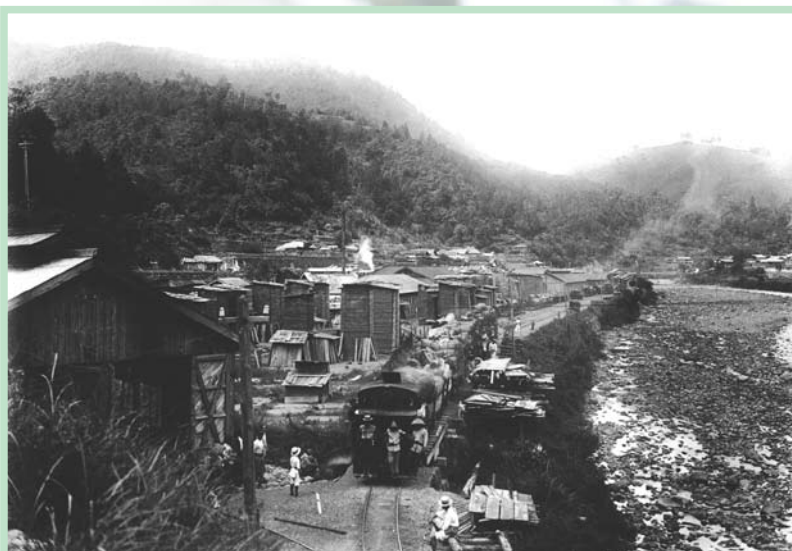
## 魚梁瀬森林鉄道の写真

～マスコミも注目～

【詳細2頁】



テレビ局の取材を受けている新木局長



大正時代の馬路製材所附近





明神口橋



る予定となっています。  
 このことがマスコミに伝わり、「森林鉄道遺構保存活動関係者も今まで見たことのない珍しい写真がある」とのことで新聞社、テレビ局の取材を受け、大きく取り上げられました。なお、森林鉄道の写真は、四国森林管理局のHPの「思い出の森林鉄道」コーナーでご覧頂けます。



写真について説明中の新木局長

昨年、局長室の書棚に大正時代から昭和初期にかけての写真アルバムが残されていることに新木局長が気が付きました。

見ると、「森林鉄道」「名木、伝説木」「石積みのお堀(ダム)による災害復旧」など、当時を振り返る大変貴重な写真が含まれています。

中には、カビなどで劣化が進んでいるものもあり、このままではせっかくの歴史的資料が損なわれてしまうことから、デジタル化による保存を図ることとしました。

これらの中には、魚梁瀬森林鉄道で犬に空のトロリー(台車)を曳かせる様子、導入されて間もない蒸気機関車の雄姿、当時の馬路製材所の近辺等の写真が含まれているため、馬路村の上治村長から、ぜひ地域おこしの展示に使いたいとの依頼があり、森林鉄道に関する七四枚の写真データを提供し、馬路村では七月頃、役場内で展示す

五月九日、仁淀川町立池川中学校の一年生一七名を対象に森林教室と間伐体験を行いました。

仁淀川町のかつての基幹産業であった林業を、森林体験を通して学習するため「森林づくりの環」と「木の宿泊合宿の一環として依頼があり、実施したものです。

最初に、「森林がはたす役割」と題して、森林の働きと大切さ、森林を適正な状態に保つためには、適切な手入れで適切な伐採を行い、搬出し、上手に使う「森林づくりの環」と「木の宿泊合宿の一環」が必要であることを説明しました。

次に校庭に出て、パネル

森林の働きについて講義



と水の浸透実験装置を使って、森林の保水能力と水の浄化作用等について学びました。装置にセットした校庭の土と森林の土それぞれに水を注ぎ、そこから出てくる水の流れ方や濁り方の違いに、生徒や先生から「実際に体験し、浄化された水を見ると森林の機能がよく理解できました。」との声

が聞かれました。

最後に間伐体験を行いました。最初に準備体操を行った後、間伐での注意点等を説明し、三班に分かれて山に入りました。ほとんどの生徒がノコギリを使ったことがなく、斜めに切ったり引っかけたりと悪戦苦闘していました。また、生徒達は、



間伐体験

伐った丸太を輪切りにし、記念に持ち帰りました。伐った丸太を輪切りにし、

生徒達からは、「森林の働きや間伐の大切さ等、色々と教えていただきありがとうございます、仁淀川町の森林づく

に、進捗状況に差が出ないよう工程を一つ一つ一緒行っていました。



途中、「滑床には青や黄のカエルがいるかも」「かっぱの目が充血」などと楽しく会話をしていたら、完成品はどれも一目で自分のものとわかる色とりどり仕上がりとりました。



松野南小学校の全児童一人名が目黒緑の少年隊として出席しており、毎年、神事の後に森林教室を行っています。午前中の木工教室では、事前に「金ちゃん工房（OBの木工達人）」から匠の技を受け継ぎ「かっぱの貯金箱」を作成しました。作業時間が一時間弱と短いため、パーツを張り合わせ着色するという単純なもので、松野町等が主催する恒例の滑床山開きの神事が行われました。

四月二六日、足摺宇和海国立公園内にある滑床溪谷で、松野町等が主催する恒例の滑床山開きの神事が行われました。

この山開きには、地元の

これ、無かった？（フィールドビンゴ）



を結んでいる遊々の森「わくわくの森」で活動したいと要望があったことから、森林散策をしながら「わくわくの森」まで移動し、ネイチャーゲームを行いました。

「フィールドビンゴ」の準備は、予め隠しを駆け回り、予め隠しておいた「ぬいぐるみ」や「ビニールのおもちや」を必死で探していました。なかなかビンゴにならない子どもには、自然とお兄さんお姉さん児童が救いの手を差し伸べており微笑ましいものでした。

子どもたちは、こちらが冷や冷やするほどの勢いでらか「もうすぐ母の日だからお母さんにあげる！」と心温まる言葉が聞こえました。子どもたちは、たくさん歩いて、走って、笑って、疲れたことと思いますが、大きくなって滑床溪谷で過



ごした楽しい時間や森林の素晴らしさ思い出して頂きたいものです。

四月二〇日、地元の四万十市西土佐江川崎で西土佐地域の食材等を集めた「四万十川びらき&春の感謝祭」が開催され、当センターは、木工体験コーナーで参加しました。このイベントは、西土佐ふるさと市組合の主催で、同地域に「道の駅」が開業する二〇一五年を前に、地域食材や地域商品をPRし

ようと初めて企画され、当センターにも参加を要請されたものです。当日は、西土佐地域の食材等約三〇店が出店され、会場周辺ではカヌーの無料体験や屋形船の無料乗船、タケノコ掘り体験等も行われました。



大盛況の木工体験コーナー

当センターのコーナーでは、金ちゃん工房（OBの木工達人）のピンボールビンゴ等の出前ゲームや、動物のストラップ作り等を行いました。両親に連れられた幼児や小学生のグループ等が、クマやカブトムシなどの好きな動物のストラップを作ったり、ゲームを楽しんだり、イベント開催中、当コーナーには、お客さんが途切れることなく訪れ、大盛況でした。

心配された天候にも恵まれ、地域との結びつきが深められた一日となりました。